

木津川市公共施設等総合管理計画（案）に係るパブリックコメント実施結果（提出意見及び市の考え方）

- 1 公表期間 平成28年12月7日から平成29年1月10日まで
- 2 計画（案）に対する意見の提出結果 2件（2項目）
- 3 提出された意見及び市の考え（なお、提出意見については要約して記載しています。）

No.	計画案での該当場所			種別	提出意見	市の考え	反映
	章	項目	ページ				
1	III. 公共施設等の総合かつ計画的な管理に対する基本方針 IV. 公共建築物における施設類型ごとの管理に関する基本方針			意見	<p>今や公共施設は人々が暮らしていくためには、なくてはならない物になっている。それを維持するためには、それ相応の費用がかかり効率的、効果的な運営が必要である。しかし、効率性が強調され過ぎると、人口の少ない地域の施設はなくなり、住民にとっては不便になり人口の流出に拍車をかけるようになる。</p> <p>政府も都市集中を緩和するため、地方創生に力を入れ、人の地方への分散化を進めており、施設整備等の設置および変更を行う上で、それを考慮に入れて実施されるよう願う。</p>	<p>貴重なご意見として伺います。</p> <p>本計画（案）には、III-2-(3)⑥統合や廃止の推進方針において、「時代のニーズや利用状況等に照らして、必要性が低くなっている公共施設等については、利用者等に十分な説明を行い、調整を図ったうえで、廃止・撤去を進めます」としております。</p> <p>また、IV. 公共建築物における施設類型ごとの管理に関する基本方針においても、地域に密着すべき施設については、「利用者数や地域の特性を踏まえつつ、それぞれにおいて施設のあり方を検討する」としております。</p>	
2	III. 公共施設等の総合かつ計画的な管理に対する基本方針	2. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方 (3) 実施方針 ②維持管理・修繕・更新等の実施方針	30 ページ	提案	<p>実施方針に「機能の保持・回復を図る予防保全型維持管理の導入を推進し、ライフサイクルコストの平準化に努めます。」とあるが、建物や設備の機能を適切に保持するに努めたとしても、いつかは限界が訪れ、特に設備においては、更新を検討しなければならない時期が到来することになるのではないかと。そういった更新をしなければならない時に、ライフサイクルコスト縮減に寄与する検討を行うことが有効だと考える。</p> <p>そこで、記載内容を下記のように修正し、更新時の対応についても方針を示すことで、ライフサイクルコストの低減に寄与する方針となるのではないかと。</p> <p>(修正後)</p> <p>ライフサイクルコストの平準化に努めることとし、設備等の更新が必要と判断されたものについては、費用対効果を考慮した上で、省エネタイプの導入を検討し、ライフサイクルコストの縮減に努めます。</p>	<p>以下のとおり文言を修正します。</p> <p>III-2-(3)②維持管理・修繕・更新等の実施方針</p> <p>従来、劣化等による故障の度に必要な修繕が行われてきました。大規模な修繕や更新をできるだけ回避するため、施設特性を考慮のうえ、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る予防保全型維持管理の導入を推進し、<u>設備等の更新が必要と判断したものについては、費用対効果を考慮したうえで、省エネタイプの導入も含め、ライフサイクルコストの縮減や平準化に努めます。</u></p>	○